



公益財団法人愛知県文化振興事業団

2019年8月14日(水)
愛知県芸術劇場
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
広報・マーケティンググループ
☎ 052-955-5506

<Press Release>

報道各位

愛知
芸文
フェス



プロデューサー選りすぐりの“今観るべきダンス”をオムニバス上演

ダンス・セレクション -Dance Selection



(C) Sugawara Kota

(C)bozzo

(C)Pierre Morel

平素より愛知県芸術劇場の活動につきまして、ご理解・ご支援賜りありがとうございます。

当劇場のプロデューサー選りすぐりの作品を集めた「ダンス・セレクション」を、10月19日(土)に当劇場小ホールで開催します。

本公演は、国内外で活躍する振付家・ダンサーによる作品をお届けする公演として、2018年よりスタートしました。今年もソロ、デュオ、アンサンブルなど、様々な形態のダンスをお届けします。年齢を重ねた身体性をテーマにした鈴木竜(スズキ リュウ)のコンテンポラリー・ダンス作品や、「今、この時間を切り取る」をコンセプトにした横山彰乃 / Ial banshees(ヨコヤマアヤノ / ラ バンシーズ)のダンス作品、ジャグラーの渡邊尚(ワタナベ ヒサシ)とギヨーム・マルティネによる躍動感ある日仏共同製作作品など、身体表現が主となった秀作を今回もセレクトしました。

また、関連イベントでは、ワークショップや座談会を開催し、地域のアーティストのスキルアップを図ります。

お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ(武石) 企画制作グループ(加藤)

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2 ☎ 052-955-5506 Fax 052-971-5541

E-mail: mkt@aaf.or.jp WEB: <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>

関連イベント:地域のアーティストのスキルアップを図る (2018年の様子)



ダンス・ワークショップ

座談会

レビュー講座

当劇場では、鑑賞公演のほかに、人材養成プログラムの一環として、東海圏におけるアーティストの人材養成事業にも取り組んでいます。本イベントは、地域の若手アーティストが、国内外で活躍する「ダンス・セレクション」の出演アーティストとコミュニケーションを図ることで、個々にスキルアップし、更には地域全体のスキルアップに繋げることを目的としています。

今年も出演アーティストが持つ独自のメソッドと、これまでの舞台の経験をもとに、バリエーションに富んだワークショップや座談会、レビュー講座などを開催します。

より近い距離で多様な価値観を共有することで、作品の様々な見方・楽しみ方にも触れていただけます。

公 演 情 報

公演名 | ダンス・セレクション
日時 | 10月19日(土)15:00開演(14:45開場)
会場 | 愛知県芸術劇場 小ホール
入場料金 | 全席自由 一般 2,500円 U25 1,000円

※U25は公演日に25歳以下対象(要証明書)

※3歳以下のお子さまはご入場できません。託児サービスあり(有料・要予約)

○託児サービス 対象:満1歳以上の未就学児 料金:1名につき1,000円(税込)

申込締切:10月15日(火) お問合せ:株式会社ポピンズ(9:00~17:00) ☎052-541-2100

※車椅子でご来場の方、団体割引(10名以上)は劇場事務局(☎052-971-5609)まで事前にご連絡ください。

※公演の入場については、制限させていただくことがあります。

※やむを得ない事情により内容、出演者等が変更になる場合があります。

発売日時 | 販売中

販売場所 | ○愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event>

○愛知芸術文化センタープレイガイド(地下2階)(10:00~19:00) ☎052-972-0430 ほか

※土日祝は18:00まで。月曜定休、祝休日の場合は翌平日。

<購入方法によりチケット代金のほかに手数料が必要になる場合があります。>

助 成 | 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
| 独立行政法人日本芸術文化振興会

主 催 | 愛知県芸術劇場

プロフィールと作品概要

出演 鈴木 竜(スズキ リュウ)



アクラム・カーン、シディ・ラルビ・シェルカウイ、フィリップ・ドゥクフレ、テロ・サーリネン、インバル・ピント／アブシャロム・ポラック、エラ・ホチルド、平山素子、近藤良平、小嵐健太、夏木マリなど国内外多数の振付家の作品に参加。振付作品は第3回セッションベスト賞のほか YDC2017 コンペティション I では3つの賞を史上初のトリプル受賞するなど注目を集めている。横浜ダンスコレクション 2017 コンペティション「若手振付家のための在日フランス大使館賞」「MASDANZA 賞」「シビウ国際演劇祭賞」をトリプル受賞。



作品 『AFTER RUST』

本作は、これまでダンスを行なってきた自分が、年齢を重ねた身体と向き合い、なまってきた感覚を、金属の“錆”と捉えた点から着想。身体を研ぎ澄ませたパートから自然な動きへと移行していくパートなど、身体の持つ性質を物質に置き換えて表現した。本作は、「若手振付家のための在日フランス大使館賞」のレジデンス期間中に制作され、2018年にルーマニアのシビウ国際演劇祭で初演。その後、スペインやベトナムをツアーし、19年2月に横浜ダンスコレクション 2019 で注目を浴びる。

出演 横山彰乃 / lal banshees(ヨコヤマアヤノ / ラ バンシーズ)



(C) Avako Takamatsu

長野県出身。幼少よりモダンダンスを始め、2009年よりダンスカンパニー[東京 ELECTROCK STAIRS]メンバーとして国内外全作品に出演。舞台やソロでの創作活動の他、MV 等の振付を行なう。横浜ダンスコレクション EX2012 competition1、トヨタコレオグラフィーアワード 2016 ファイナリストに選出される。普通の事をファンタジックに切り取り、そして現実に戻す音楽的ダンスを体現する。女性みのダンスカンパニー「lal banshees」主宰。



作品 『ペッピーライカで雪を待つ』

本作は、「音楽や詩がその「時」を表すことが得意だとしたら、ダンスほど”今”を切り取ることができるものはない」という考えのもと作られたトヨタコレオグラフィーアワード 2016 の最終審査会ノミネート作品。ダンス・セレクションの上演にあたり、再構築し、上演する。

出演 渡邊 尚(ワタナベヒサシ) × ギヨーム・マルティネ



(C) Saiik Kim

渡邊 尚《頭と口》

京都府出身。カンパニー《頭と口》主宰。幼少の頃から4足歩行で夜道を歩くなど、社会から抜け出した人間の身体を探求し続けている。2006年からジャグリング、ダンス、整体などを始め、プロダンサーを経てサーカスアーティストになる。身体と物の関係性に関する独自の哲学と技術を盛り込んだソロ作品“逆さの樹”が高く評価され、ジャンルを超えてヨーロッパ・アジア各国のフェスティバルに多数出演。また、3年前から無拠点・野外生活などを開始し、自身の生活をもって社会の外の身体を研究している。



(C) Pierre Morel

ギヨーム・マルティネ《Defracto》(デフラクト)

フランス・パリ出身。2008年ロー・カイヤと共にカンパニー《Defracto》(デフラクト)を発足。09年、ソロ作品で若手の登竜門と言われる「Cirque de Demain」の審査員特別賞を受賞。13年にジャグリングと身体による新しい言語をテーマにしたデュオ作品『Flaque』を発表。同作品でスペインのベストサーカス賞を受賞するなど高い評価を受け、世界的に人気が急上昇し5大陸60カ国で上演。実験的かつ楽しめるジャグリングスタイルで、ヨーロッパの現代サーカス界を牽引するジャグラーの1人である。



(C) Pierre Morel

作品 『妖怪ケマメ』

海外で活躍する2人のアーティストが、ジャグリングの技術を追求した作品。コンセプトは、「身体の中に眠る妖怪性や動物性」。お互いの価値観を共有しながら、人間の身体の禍々しさを浮かび上がらせる。